

福岡工業大学・先進工学科「半導体工学コース」を設置します

20 人の少数精鋭。全員が台湾へ留学。半導体業界の「即戦力」を目指します

2026 年 8 月 10 日（月）



福岡工業大学は来年 4 月に学部学科を改組し、工学部に新たに 6 つの理工学分野のコースを開設します。

この中に「半導体工学コース」（募集人員 20 人）を新設。全員が半導体産業の本場、台湾への留学を経験し、世界で活躍できるエンジニアになることを目指します。本コースの学生たちは留学先として、TSMC と連携する半導体業界の人材育成のトップランナー「国立雲林科技大学」に行き、現地の研究室に所属して福工大と単位を互換する形で卒業研究にも取り組みます。

来月（9 月）にはコースのモデルケースとなるべく、福工大の 4 年生 4 人が雲林科技大学へ半年間の単位互換留学に出発し、来年 1 月まで現地で最先端の半導体工学について学びます。福工大は九州の半導体業界を盛り上げ、世界で活躍できるエンジニアを育てます。本取り組みについてぜひ取材いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

台湾の大学との「単位互換」で世界最先端の半導体技術者を育てる。最先端の教育プログラム



1～3 年次 福工大で半導体の基礎（物性・材料・電子回路などの知識）を基礎を体系的に学びます。





4 年次 台湾・雲林科技大学で卒業研究。半導体産業の最先端で実践的スキルを磨きます。



九州の半導体企業で
活躍できる
中核人材へ



コース入学者は入学後、1～2 年次に半導体工学の基礎となる物性・材料・電子回路などの知識を学ぶとともに、3 年次からは半導体に特化した知識と技能を身につけ、専門性を高めます。1～3 年次を通じて、台湾での学修に備えた語学修得にも取り組みます。4 年次には全員に雲林科技大学をはじめ、台湾の大学への約半年間の留学の機会を提供。福工大の卒業要件と互換する形で現地での卒業研究に取り組み、国内外の半導体メーカーや企業で活躍できる最新の知見を身に付けた中核人材へと成長します。



福工大の学内に導入された
半導体製造の現場で使用するクリーンルーム

■ 革新的な教育、産学連携で台湾トップクラス。 国立雲林科技大学とは

台湾の雲林県斗六市にある国立の科技大学です。工学部や管理学部など 5 つの学部で約 1 万人の学生が学んでいます。1991 年に設立された新しい大学ですが、※2026 年の世界大学ランキングでは、台湾の全大学の中で 10 位になるなど、革新的な教育プログラムと産学協力の分野で高い評価を受けています。また、半導体分野では、担当する教員の 70%以上が実務経験を有し、企業と密接に連携した教育プログラムを展開し、TSMC をはじめ台湾の多数の半導体関連企業に多くの人材を送り出しています。※
<https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings>

■ 「半導体コース」のモデルに。9 月～福工大の 4 年生 4 人が現地での卒業研究のため雲林科技大学へ

半導体コースの発足は来年（2027 年）の 4 月からとなっており、コースの 4 年生が台湾での学びを始めるのは 2030 年～になります。これに先駆けて、発足後のコース生のモデルケースとなるべく、福工大の電子情報工学科の 4 年生 4 人が、ことし 9 月から雲林科技大学に留学。約 4 カ月半の日程で現地での卒業研究に取り組みます。4 人は半導体業界に強い興味を持ち、2 年次に実際に台湾の別の大学に短期留学した経験もあり、その後、半導体の知識のほか、語学力についても高めてきました。

半導体産業の最先端、台湾で自らの専門性を高めるべく、今回は、「長期留学」および「単位互換が認められる現地での卒業研究」という本学初の取り組みとして渡航します。

※ 9 月 4 日に渡航予定の為、彼らには 8 月下旬までインタビューなどが可能です。

取材や問い合わせは以下まで

福岡工業大学 入試広報課：092-606-0607

担当：池田 080-3967-1476 mail：ko-ikeda@fit.ac.jp